

本物の図書館建設を

町長 町の総合計画の中で検討していく



問 観光振興について

驚異的な経済成長を続け海外旅行人気の高まっている中国からの観光客誘致を促進するため、7月から中国人向けの個人観光ビザの発給が大幅に緩和され、日本を訪れる中国人観光客は現在年間100万人から10倍の1千万人に増加すると予想されていますが、中国人観光客誘致の施策は、

答 山陰両県においては、

今年度から中国人観光客対策を検討されるので奥出雲町としても全県的な取り組みの中で検討してまいります。

国際観光については、昨年韓国からの誘客を開始しており、4回で160名の皆様が来町され、今年度も境港、韓国の東海、それからロシアのウラジオストクを結ぶ定期貨客船の運航及び米子空港利用促進策として山陰両県において創設された観光バス助成事業を活用して推進していきます。

今年は、これまでのところ5回に分けて約200名の皆様が来町される予定になっております。

問 国内で2千万人以上が利用しているといわれるインターネットの動画投稿サイト、YouTubeですが、奥出雲町の観光PRや行政情報を世界中に発信する考えは、

答 YouTubeはイン

ターネット上で動画による情報提供及び閲覧が無料でできるサイトですが、奥出雲観光協会の奥出雲「こちでもサービス」を始めたところであり、今後順次動画コーナーを充実し、奥出雲町の魅力をさらに発信していきたいです。

問 図書館建設について

町民のだれもが自分の住む地域でよりよく生き真に豊かな暮らしを実現していくために、生涯にわたる自己学習を保障する本物の図書館を設置することは行政の責任であり、笑顔で語らい、元氣あふれる町づくりにつながっていくと確信しますが奥出雲町にも本物の図書館を建設していく考えは、

答 住民の学習ニーズの多様化やこれらの対応、また地域の歴史文化情報の集積拠点としての図書館は、大変重要な機能を持った施設であり、今年度策定をされる町の総合計画の議論の中で前向きに検討していきます。

問 NPO法人の育成について

島根県ではNPO法人向けの低利融資制度を6月に創設し、福祉や教育、町づくりなど幅広い分野で地域を支える団体の運営基盤強化を支援しようとしています。

中山間地域である奥出雲町にふさわしい医療や介護、また子育て支援な

ど地域の実情に応じたサービスを提供の必要はますます高まっており、NPO法人の役割は重要だと思います。

地域の福祉力を高める上で行政がNPO法人を地域づくり、町づくりのパートナーとして財政支援をしていく必要があると思うが。

答 島根県では、NPO活動促進のための県民いきいき活動促進事業並びに県民いきいき活動奨励賞を設置し、活動を支援しております。

町としても、NPOの支援はこういう形が一番いいの、押しつけにならないような形での支援を考える必要がある。

多くの地域課題は行政だけで解決できるものではなく、NPO法人はじめ地域の皆様など多様な主体者が協働しながら取り組んでいく必要があり、NPO法人への社会の期待は今後ますます高まっております、どういった支援が必要か検討していきます。